

令和5年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回若葉区役所部会議事録

1 日時：令和5年8月10日（木） 14：00 ～ 15：30

2 場所：千葉市若葉区都賀コミュニティセンター 1階 集会室

3 出席者：

(1) 委員

田部井 宏明 委員（部会長）、霞 晴久 委員（副部会長）、秋元 稔 委員、
小高 正浩 委員、平井 敏一 委員

(2) 事務局

柿崎若葉区長、山本地域づくり支援課長、菅野課長補佐、西村主査、山下主任主事、
牟田主任主事

4 議題：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
- (2) 令和4年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 千葉市若葉区都賀コミュニティセンター
- (3) その他

5 議事概要：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
委員の互選により、部会長に田部井委員、副部会長に霞委員を選出した。
- (2) 令和4年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について
ア 千葉市若葉区都賀コミュニティセンター
まず、令和4年度の「指定管理者評価シート」について施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、市の作成した評価案は妥当であると決定した。
- (3) その他
議事録の公開について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○地域づくり支援課職員 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより令和5年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回若葉区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます若葉区地域づくり支援課の山下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

なお、現在、傍聴人の方はいらしておりません。

それでは、委員の皆様のご紹介をお名前の50音順にさせていただきます。

若松中学校区町内自治会連絡協議会会長、秋元稔委員です。

株式会社ちばぎん総合研究所調査部長の小高正浩委員です。

公認会計士の霞晴久委員です。

弁護士の田部井宏明委員です。

学校法人植草学園 学園事務局内部監査室長の平井敏一委員です。

続きまして、職員についてご紹介いたします。

柿崎若葉区長でございます。

次に、若葉区地域づくり支援課職員です。山本地域づくり支援課長です。

菅野課長補佐です。

西村主査です。

牟田主任主事です。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、柿崎区長からご挨拶を申し上げます。

○柿崎若葉区長 皆様、改めまして、こんにちは。

本日は、お忙しいところ、令和5年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回若葉区役所部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。この都賀コミュニティセンターですけれども、令和3年度から7年度までの5年間を株式会社千葉マリスタジアムさんをお願いして、管理業務、施設の管理、諸室の貸出しといったような業務をやっていたいております。

今年度につきましては、令和4年度の2年度目の業務に対して評価をいただきます。また、令和5年度の状況ですけれども、コロナの5類移行に伴いまして、大分、以前のように、皆さんイベントにこの施設を使われており、利用者が戻ってきているといった状況でございます。

そういう中ですけれども、施設管理上はやはり、光熱費が大分上がってきておりますので、創意工夫しながら、運営していかなくてはならないような状況でございます。

本日は、皆様のお知恵を拝借させていただきながら、よりよい施設運営につきまして、ご議論、ご意見をいただければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

結びになりますけれども、暑い日が続いております。くれぐれもご健康にご留意いただきまして、挨拶に代えさせていただきます。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

○地域づくり支援課職員 それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机上当りでございます「次第」、「席次表」、「諮問書」でございます。

次に、ファイルをお開きいただき、資料1は、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回若葉区役所部会進行表」。本日は、15時40分頃の終了を予定しております。

資料2は、「若葉区役所部会委員名簿」。

資料3-1から3-6は、「千葉市若葉区都賀コミュニティセンター」の令和4年度評価に関する資料で、3-1が指定管理者年度評価シート（案）、3-2が指定管理者年度

評価シート補足資料、3-3が指定管理者モニタリングレポート、3-4が事業計画書、3-5が事業報告書、3-6が指定管理者計算書類ということで、過去3期分の決算関連書類を添付しております。

続いて、参考資料1が「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料2が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」、参考資料3が「部会の設置について」、参考資料4が「若葉区役所部会で審議する公の施設一覧」、参考資料5が「千葉市情報公開条例・施行規則 抜粋」、参考資料6が「評価の目安（年度評価シート）」、参考資料7が「都賀コミュニティセンターの令和3年度から遡って令和元年度まで過去3年間の指定管理者年度評価シート」、参考資料8が過去の「都賀コミュニティセンターに関する市民局指定管理者選定評価委員会の意見等」でございます。

以上をお配りしております。

おそろいでしょうか。不足等ございましたらお知らせください。

続きまして、会議の成立について、ご報告いたします。

本日は、全委員の出席となっておりますので、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用する第10条第2項」に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

まず、「(1) 部会長及び副部会長の選出について」ということで、この若葉区役所部会ですが、前部会長の委嘱期間が終了したことに伴い、改めて部会長、副部会長を選出する必要があります。そこで、本日、委員の皆様の互選により決定していただきたいと存じます。

なお、部会長が決定するまでの間、柿崎若葉区長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○地域づくり支援課職員　それでは、柿崎区長、議事進行をお願いいたします。

○柿崎若葉区長　それでは、ご承認いただきましたので、部会長が決定するまで仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題1の「部会長及び副部会長の選出について」でございます。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の召集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。

副部会長につきましては、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、「千葉市公の施設に係る指定管理者の設定等に関する条例第11条第4項」に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○秋元委員　はい。

○柿崎若葉区長　お願いいたします。

○秋元委員　部会長に田部井委員を推薦したいと思います。

○柿崎若葉区長　ただいま田部井委員を部会長に、とのご推薦をいただきましたが、い

かがでしょうか。

(なし)

○柿崎若葉区長 ほかに、ご意見等ございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。

(異議なし)

○柿崎若葉区長 それでは、田部井委員に部会長をお願いいたします。

田部井委員、部会長席へ移動をお願いいたします。

それでは、田部井部会長より、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願
いいたします。

○田部井部会長 ただいま部会長に推薦していただきました。円滑な議事進行に努めて
まいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○柿崎若葉区長 ありがとうございます。

それでは、部会長が選出されましたので、ここで議長を田部井部会長に交代したいと存
じます。皆様、引き続きご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○地域づくり支援課職員 それでは、改めて、田部井部会長に進行をお願いいたします。

○田部井部会長 それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力を
いただきますようお願いいたします。

続きまして、副部会長の選出を行いたいと思います。こちら互選により選出すること
とされております。

どなたか立候補、もしくは推薦をされる方いらっしゃいますでしょうか。

○秋元委員 はい。

○田部井部会長 秋元委員。

○秋元委員 霞委員を副部会長に推薦したいと思います。

○田部井部会長 ほかにご意見はございませんか。

(なし)

○田部井部会長 ただいま、霞委員を副部会長に、とのご推薦をいただきましたが、皆
様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○田部井部会長 では、ほかにご意見、ないようですので、霞委員を副部会長に決定し
たいと思います。よろしいですね。

(異議なし)

○田部井部会長 それでは、霞委員、副部会長をお願いいたします。

では、ここで、霞副部会長から一言ご挨拶をいただきたいと思いますので、お願いいた
します。

○霞委員 ただいまご指名いただきました霞でございます。新任になりますが、精いっ
ぱい務めたいと思いますので、何とぞよろしくお願いいたします。

○田部井部会長 ありがとうございます。

では、続きまして、議題の2、「令和4年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年
度評価について」に入らせていただきます。

まず、「年度評価」の概要について、事務局からご説明願います。

○山本地域づくり支援課長 それでは、説明させていただきます。

まず、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要について、ご説明いたします。

年度評価でございますが、1年間の指定管理者による管理運営を評価し、現指定期間における管理運営の改善につなげることを目的としております。そのため、本日のように選定評価委員会を開催し、委員の皆様からご意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うために実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、まず、市が現地視察・ヒアリング等を通じて行った年2回のモニタリングの結果、そして指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書等を踏まえ、「指定管理者年度評価シート案」、今回の資料で言いますと、資料3-1に当たりますが、これを作成いたします。

この、市で作成した「年度評価シート案」と、指定管理者から提出された「事業報告書」、直近3年分の「計算書類等」などの資料を基に、この選定評価委員会におきまして、「市の評価の妥当性」や指定管理者による「施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策」や「改善を要する点」、また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の「財務状況」などに対するご意見をいただきます。

最終的に、そのご意見等の中から、部会としての意見を取りまとめていただき、それを部会長から選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長から市に対し、答申をいただきます。

答申でいただきましたご意見は、年度評価シートの一番後ろに「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」として記載いたします。

そして、評価の結果につきましては、指定管理者による管理運営の改善・効率化に向けた取組を促進するため、当該指定管理者に通知するとともに、選定評価委員会のご意見を記載した「年度評価シート」を市ホームページ上で公開いたします。

年度評価の概要については、以上でございます。

○田部井部会長　ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明について、何かご質問などございますか。

よろしいですか。

それでは、「千葉市若葉区都賀コミュニティセンター」の年度評価を行います。まず、事務局から説明をお願いします。

○山本地域づくり支援課長　では、引き続き私のほうからご説明させていただきます。

それでは、「令和4年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価」について説明いたします。

まず、今回の若葉区役所部会の審議対象となる施設についてですが、参考資料4「若葉区役所部会で審議する公の施設一覧」をご覧ください。

若葉区内には都賀と千城台の二つのコミュニティセンターがございますが、千城台コミュニティセンターについては文化施設と一括で指定管理者制度を導入していることから、「市民・文化部会」にて審議を行います。そのため、本日の審議対象は、都賀コミュニティセンターのみでございます。

それでは、都賀コミュニティセンターの指定管理者による「令和4年度の施設の管理に係る年度評価」についてご説明いたします。

まず、本題に入ります前に、今回、市が行った評価に係る資料を複数提示しておりますが、「その資料同士の関係性」と、「市によって行った評価の根拠」につきまして、説明をさせていただきます。

評価に関してメインとなる資料は、資料3-1「令和4年度指定管理者年度評価シート（案）」です。そちらの6ページをお開きいただきますと、「（3）管理運営の履行状況」という表がございます。その中央の列、「市の評価」と書かれた部分をご覧くださいと、「C」が五つ、「B」が二つ並んでおります。このアルファベットの「B」や「C」といった評価を決定するための根拠となる資料が、資料3-2「令和4年度指定管理者年度評価シート補足資料」でございます。

資料3-2「補足資料」をお開きいただきますと、中央からやや右側の列に「年度評価」、その下段に「（3）管理運営の履行状況」、さらにその下段に「市の評価」と書かれた部分がございますが、そこに記された評価が資料3-1に転記されたものです。

また、資料3-2の評価は、市が年に2回実施している資料3-3「指定管理者モニタリングレポート」をもとに作成しております。具体的には、資料3-3「モニタリングレポート」の右端の列に、丸や二重丸が記入されておりますが、これを資料3-2「補足資料」の所定欄に転記をしていきます。

ここで、参考資料6「評価の目安（年度評価シート）」をご覧ください。

「①各モニタリング項目の年間の点数の算出」にございます、点数の基準に基づき、大項目ごとに「年間の点数の平均値」を算定します。この年間の点数の平均値が、「②平均値の算出」にある、評価AからEのどれに該当するかを確認し、該当する評価をつけているということでございます。

戻りまして、資料3-1の6ページは、今、ご説明しました内容を1枚にまとめた状態ということでございます。

それでは、資料3-1「令和4年度指定管理者年度評価シート」についての詳細をご説明いたします。

シートの1ページをご覧ください。

「1 公の施設の基本情報」については、記載のとおりでございます。

なお、成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものでございます。

続いて、「2 指定管理者の基本情報」ですが、指定管理者は株式会社千葉マリスタジアムです。指定期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間となっております。なお、平成18年度から令和2年度まで、指定管理者はアクティオ株式会社でしたが、令和3年度より株式会社千葉マリスタジアムに管理者が変わっております。

2ページをご覧ください。「3 管理運営の成果・実績」の「（1）成果指標に係る数値達成状況」につきましては、記載のとおりでございます。

なお、米印に記載がありますとおり、数値目標は指定管理者を選定した当初に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表しております。

都賀コミュニティセンターの場合、諸室稼働率とスポーツ施設利用者数の双方で、市設定の数値を上回る目標を、指定管理者が設定しているということでございます。

「（2）その他利用状況を示す指標」につきましては、幼児室・静養室・サンルーム利

利用者数及びコミュニティまつりの参加人数を記載しております。

次に「4 収支状況」でございます。

「(1) 必須業務収支状況」の収入について申し上げます。

指定管理料の実績は計画と同額の5,280万8千円となっております。

利用料金収入については、計画より37万7千円の減額となっております。こちらは、ホールの利用が計画時の見込みを下回ったもので、その要因としては、新型コロナウイルス感染症防止のため、令和4年まで諸室の定員を2分の1としたことや、あるいは合唱や社交ダンスなど、発声や身体接触を伴う活動について、注意事項の徹底をお願いしていましたが、ホールは、そのような活動で使われる方がもともと多かったため、影響を受けたものです。

次に、支出について申し上げます。資料3ページをご覧ください。

まず人件費ですが、計画より405万4千円の増額となりました。委託費等の削減を行うための人員の事務分掌の見直し等を行ったことによる人件費の増加・超過勤務に伴う割増が発生したことによるものです。

事務費・管理費は、計画より136万円の増額となりました。コロナ対策消耗品の購入や光熱費高騰によるものです。

委託費についてですが、計画より504万2千円減額となりました。再委託業者を集約したことによる経費縮減、一部直営により業務を実施したためでございます。

その他事業費、間接費は、計画とほぼ同額です。

続いて、4ページをご覧ください。「(2) 自主事業収支状況」、「(3) 収支状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。自主事業の収入額、支出額ともに、令和3年度に比べて大幅に増えております。

令和4年度は新型コロナウイルスによる感染症対策の一部について規制緩和があったことや、規制がある中でも、実施できる自主事業を工夫しながら行ったことが要因であると考えております。

結果としまして、必須業務と自主事業を合わせた令和4年度の収支は132万4千円のマイナスとなりました。

次に、5ページの「5 管理運営状況の評価」をご覧ください。

「(1) 管理運営による成果・実績(成果指標の目標達成状況)」でございますが、諸室の稼働率については、市設定の指定管理期間最終年度の数値目標に対する達成率は108.5%でした。

また、指定管理者設定の令和4年度の数値目標に対する達成率が105%であったことから、「B」評価といたしました。スポーツ施設の利用者数については、市設定の指定管理期間最終年度の数値目標に対する達成率は102.2%でした。

また、指定管理者設定の令和4年度の数値目標に対する達成率が99.4%であったことから、「C」と評価をいたしました。

次に、「(2) 市の施設管理経費縮減への寄与」についてですが、指定管理料が選定時の提案額と同額であったため、「C」評価としました。

続いて6ページをお願いします。「(3) 管理運営の履行状況」の市の評価についてです。こちらに記載の評価につきましては、資料3-2「評価シート補足資料」の評価を転

記したものですので、併せてご覧ください。

資料3-2の3ページ目、「3 施設の効用の発揮（1）幅広い施設利用の確保」について、モニタリング結果について、数値どおりに評価した場合「C」評価となりますが、近隣の留学生との意見の場を設けることや、コミュニティまつりのスタッフとして参画してもらおう等、地域との交流の場を創出している点を評価して「B」に修正をしました。また、同様に、4ページ目「3 施設の効用の発揮（3）施設における事業の実施」について、様々な自主事業を展開することで、高齢者だけでなく若者の居場所づくりや利用促進を積極的に行っている点を評価して、「B」に修正をしました。

次に、7ページをご覧ください。まず、「（4）市民局 指定管理者 選定評価委員会意見を踏まえた対応」でございます。意見の内容と、対応・改善の内容については、ご覧のとおりでございます。

その下、「6 利用者のニーズ・満足度等の把握」についてです。

まず、第1回目の調査については、「体育館の利用者に独自に実施したアンケート調査」で、令和4年8月に実施しております。次に第2回目の調査については、全コミュニティセンター共通のアンケート調査で、令和5年1月に実施したものです。

体育館の利用者層としては、若葉区内に在住の方、それから30歳未満の方が多く、使用頻度については、月に3回から4回が最も多いことから、定期的に利用している方が多いという結果となりました。

第2回目アンケートについては、施設使用の満足度として、「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、おおむね6割から7割程度という結果になっております。

続いて、8ページの「（2）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応」についてですが、指定管理者のそれぞれの対応は記載のとおりでございます。

最後に、「7 総括」でございます。

「（1）指定管理者による自己評価」は「B」評価でございました。理由としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限がある中、諸室の稼働率を市の目標値を上回ることができたが、スポーツ施設の利用者数については、指定管理者の目標値を下回った。

自主事業については、事業計画で予定していた47事業を大きく上回る68事業を行うことができた。

コロナ渦の中、クラスターを出さないように、施設管理に努めたこととあります。

次に「（2）市による評価」でございますが、「B」評価といたしました。こちらは、5ページ、6ページにあります、「5 管理運営状況の評価」のうち、（1）から（3）における評価項目の「市の評価」の内容をもって、総括して評価したものでございます。総括評価の目安は、参考資料6の裏面をご覧ください。評価項目全10項目のうち、「B」が三つ、Cが七つであり、これは「B」評価、すなわち、「評価項目の「A」または「B」が20%以上であり、かつ、「D」「E」がない」に当たります。

また、所見としましては、利用者への親切・丁寧な対応を徹底しており、利用者へのアンケートの結果も高評価を受けていること。

支出費を抑えるため、委託業者集約や一部直営での実施をし、委託費の削減に努めたこと。

諸室稼働率及びスポーツ施設利用者数がともに市の目標値を上回っている。特に、諸室については、前年度の稼働率33.2%より8.8ポイント上昇している点は、評価できる。一方、スポーツ施設の利用者数に関しては、令和3年度より減少しているがこれは新型コロナウイルス感染症予防措置が徐々に緩和されたことに伴い、利用者の余暇活動に対する意識の変化が大きく影響していると考えられる。利用促進につながる取組について、ライフスタイルの変化に合わせて柔軟に検討いただきたい。

様々な自主事業を展開することで、コミュニティセンターの利用者の多くを占める高齢者だけでなく、「植草学園大学による支えあい教室」「若葉区中高生の居場所づくり」「大学生と中学生のふれあい教室」「外国人留学生の弁論大会」等、若者の居場所づくりや利用促進を積極的に行っていること、と評価したものでございます。

長くなりましたが、説明は、以上でございます。

○田部井部会長　ありがとうございます。ただいま事務局から一通りご説明をいただき、「都賀コミュニティセンター」の令和4年度評価に関して、「評価案」が示されましたが、この市当局の作成した評価の妥当性について、及び、指定管理者の施設のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点などについて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思えます。

ご質問も含めて、何かございましたら、お願いいたします。

○霞委員　年度評価シートの3ページ、支出の表が出ておりまして、人件費等委託費ですね。計画と実績を比較すると、人件費のほうは400万円ぐらい増えて、委託費のほうは500万円ぐらい減っているけれども、委託費の削減についての中身を見ると、委託業者の集約と、委託費の削減によるということで、人件費と委託費は両方リンクしているということでしょうか。

○山本地域づくり支援課長　そうですね。リンクしています。

○霞委員　そうすると、業者集約等により、委託費は減ったのだけれども、その分、不可抗力というか、超過勤務が出てきて、相殺されてしまったというふうに読めるのですけれども、そういう理解でよろしいですか。

○地域づくり支援課職員　おっしゃるとおりです。委託費の削減額と人件費の増額の差だけが全体として削減されているということです。

○霞委員　業者集約すると超過勤務になってしまうというのは、もう少しご説明いただきたい。

○地域づくり支援課職員　もともと、自主事業だけを担当していた人と通常の業務を担当していた人に分かれていたのですが、コロナの規制緩和とかもろもろあって、指定管理業務が増え、業務量が増えてしまった。そのため、以前は、自主事業だけだった人も通常の業務にも勤務するよう対応したことで、結果的に、勤務時間が増えたものです。

○霞委員　この反省を踏まえて、次の年度には、こういう差は、出てこないと理解すればよろしいですか。

○地域づくり支援課職員　そうですね。改善できるところは、改善してもらおうつもりです。

○霞委員　分かりました。ありがとうございます。

○田部井部会長　ほかにいかがでしょうか。

○平井委員 収益についてお話させていただきます。様々なアイデアをだして、活動も活発に行われていたことは、非常に好ましい運営を行ったと思います。ただ、4ページの収支状況を見ますと、全体の収支が132万2,000円マイナスとなっています。いわゆる指定管理ということで、市側としては市民サービスの向上や管理面で、経費の縮減につながるということで、民間事業者のノウハウを活用して行われているわけですが、民間事業者ですので、利益を上げなくてはならないという課題もあると思います。千葉市からBという評価をいただきながら、このように収益はマイナスであるということに関して、この事業を委託している市としては、収益の目安というのはないのでしょうか。

○菅野地域づくり支援課長補佐 基本的には、施設の稼働率だとか、目標を決めて、指定管理者で、この年はこれくらいの収益が上がるということで、全体の委託料を運営費と利用料収入を相殺して想定しているものですが、どうしても光熱水費ですとか、その辺で料金の変動があったりすると、5年間トータルで収益が増えている、いないによって次の契約を撤回するかどうか決めているのですが、令和4年度につきましては、電気料金がかかり多く、4(3)の収支状況の必須業務の収支のところ、70万円ぐらい赤字となっているのですが、主に電気料金によるもので、この辺につきましては、市から補填の支援がされているところですので、赤字は解消されております。あとは自主事業の赤字があるのですが、こちらのほうは利用率を上げるために頑張っていたかと思いますが、

○平井委員 市としてはBという評価で、好ましい運営をしてくださっているけれども、一方、展開する側(事業者)としては、収益事業としては、ちょっと、好ましくない状況である、そんなふうに読める数値かと思うのですけれども。

○菅野地域づくり支援課長補佐 そうですね。今年度につきましては、ご覧のようになっていますので、契約期間中に挽回していただいて、その利益を出していただくように努めてまいります。

○平井委員 あくまでも運営する事業者のほうの努力が必要であるということですか。光熱費の補填があったということでしたけれども。

○菅野地域づくり支援課長補佐 そうですね。自分の努力でどうにもならないところについては、補填もあると思いますが、基本的には、事業者の提案で契約をしておりますので、それに基づいてお支払いをしていくと、どうしても赤字になることもあります。

○山本地域づくり支援課長 やはり4年度がどうしても、コロナの影響があったものから、例えば、ホールの利用者数が下がっていたりとか、当初人数制限もさせていただいたりとか、指定管理者側でいかんともしい難いものがありました。そのように、運営上の制約を受けた中でも、これだけの稼働率を維持できたということは、我々としては、評価しています。しかしながら、収益は確かに難しい状況であるのですけれども。

○平井委員 ありがとうございます。

○秋元委員 全体の評価はBということで、だいぶ、以前と何とかな。管理者の視野が広がっているなど。自主事業の、若葉区の社会資源というか、特性を活かした様々な企画や講演会が開催されて、こういったものが増えているなどという感じがして、そういう意味では、もう以前の話と違って、若葉区全体を視野に入れた自主的な事業をされているというのが一つと、やはり、僕が感じたのは、若松高校だとか、千城台高校だとか、それから、大学だとか、そちらのほうからも、多分、国から要請されたのだと思うの

だけれども、講演もやるように、それから、ここでは高齢者だけではなく、いわゆる若い人たちの、高校、中学の若者の居場所づくりみたいな。お子さんの読み聞かせや高齢者だけではなく、その間の世代等、幅広い世代への企画も考えて、意識的にやっていたりして、そういう意味では質的に変わってきたのかなという印象をすごく受けました。いろいろな自主事業に全部目を通したのだけれども、そういう若葉区にあるいろいろな施設での関係で企画されていて、特徴的だなという感じがしました。

それから、ちょっと収支の問題があるけれども、地域の中で都賀コミュニティセンターの位置づけというかな。位置というかな。その辺はだいぶ、僕は改善されたというような印象を受けました。

○田部井部会長　ほかにいかがでしょうか。

○小高委員　業者さんの事業報告書などを拝見にしますと、学校ですとか、あるいは商工会や企業への働きかけ等、そういったいろいろ努力されているところが稼働率も目標達成などにもつながっているのだなと拝見してしまして、そういう意味では、そういったところも含めて、事業者あるいは市のほうでされている評価というのは、しっかり運営のとおりに妥当にされているのかなと。

一方で、今後稼働率、施設の稼働率なのですけれども、目標は達成しているところとあるのですけれども、それは、年度、最終的に出来上がりというのは、どの水準を目指していくということになるのでしょうか。100%いけばいいのでしょうかけれども、なかなか100%というのは、いろいろバッティングなんかもあって難しいところで、どの水準までがあるべき、最終的な目標水準なのかなというところが、別のコミュニティセンターのほうでは、60%とかいっているようなところもあったりして、抱えている人口とか、いろいろな条件によってあるべき最終形というのは違うのでしょうかけれども、この都賀のコミュニティセンターの最終的な目指すパーセンテージというのは、どの程度の水準になるのでしょうか。

○山本地域づくり支援課長　資料の2ページの3のところ、施設稼働率というところがあるのですが、最終年度に、41.6%になるように目標を設定しております。

○小高委員　それは、最終年度ということだと、いわゆる令和8年にそのところを指していると思うのですけれども、その後、この41.6%で9年、10年を同水準でいいんじゃないかなという、そういう想定でしょうか。

○地域づくり支援課職員　選定時にこの数値目標というのを決めております。基本的には、令和8年3月31日までの期間は、この目標を目安に運営してもらう形にはなるのですけれども、最終的に何%、どこを目指すべきというところまでは、現時点ではお答えができません。

○小高委員　はい。分かりました。

仮に、これが最終年度ですけれども、9年、10年、11年、もうちょっと上を目指して行くということになると、今やっている利用促進策に加えて、工夫をもうちょっとしていくということになると思うのですけれども、どういうところをやった方がいいのかなと、私なりにちょっと考えてみる中で、一つヒントはアンケートのところだと思っていて、アンケートをされて満足度とかを把握されているという、これはこれで非常に大事なことで、引き続き行っていただきたいと思うのですけれども、使っている人がどう考えているかに

加えて、使っていない人に何で使わないのかなというところを把握していくということも1個大事なのかなというふうに思っています。別のコミュニティセンターでは、商業施設などでコミュニティセンターを使っていない人に対して何で使わないのですかね、みたいなことも聞くことにより、使っていない理由を調べていました。ちょっと遠いからとか、駐車場が狭い等の理由で使わない人や、あるいは、知りませんでしたという人もいると思うので、そういった使っていない人がどうして使っていないのかというところを把握していくような、アンケートなどもやったほうがいいと思いました。

アンケートについて、もう一つだけ申し上げますと、私の前任の関が、いろいろコミュニティセンターでやっている共通のアンケートがあれば、多分平均値みたいなものがあり、こうした平均値との比較が個々のコミュニティセンターを評価するうえで必要なのではないかと意見を申し上げたかと思えます。例えばスタッフの対応等がいいのではないのかと思ったとしても、市内全体の平均を下回っていけば、もっと改善しなくてはいけないかなという話になりますし、全体の平均値との比較についても、今後は考えていかなければいけないと思います。アンケート結果をここに書くのであれば、全体の平均というのはどれくらいなのかというのが分かると、評価される委員にとっても、非常に分かりやすいのではないかという気がいたしました。すみません。長くなりました。

以上です。

○霞委員　すみません。ちょっと話を戻しますけれども、支出の増は私の認識ですけれども、いろいろな指定管理者評価委員会に出させていただいて、大体どの委員会でも共通な話題になるのが、電気代の高騰です。それで、聞くところによると、単価の増加が、令和3年、4年と比較すると、2倍、3倍になっていると話もありました。これはもう、管理不能、不能な要素なので、市は、これを調べなかったのかなというふうに思います。

聞くところによると、コミュニティセンターだったか、どこだったかちょっと忘れてしまったけれども、電気供給業者の見直しを行ったことで、その単価の上昇を少し相殺できたというようなお話もありましたので、そういった話もあるということで電気代の高騰に備えていただければと思いました。

1点、全然関係ないのですが、さっきお話の中で、市による評価のところ、8ページ、ちょっと教えていただきたいのですが、利用者の余暇活動に対する意識の変化という話がありましたけれども、具体的にどういう変化があったのでしょうか。8ページの市による評価の大体真ん中辺に書いてあり、利用者の余暇活動に対する意識の変化という、どういうことを把握されているのかお聞きしたいと思いました。

○地域づくり支援課職員　コロナの規制が緩和してきた結果、コロナ下では、しょうがなく近場の施設を使っていた人が、本来行きたかったもっと遠い場所にいこうと考え、結果的に、コロナ化で利用していた一部の人が離れていったと考えております。

○霞委員　分かりました。

○田部井部会長　ほかにどうですか。

ちょっと私からすみません。これは自主事業の収支の関係なのですが、資料3-4の計画書の後半についての収支の予算書を見ますと、軒並み収支、そもそも予算段階でマイナスという事業が多く見受けられます。一覧表がないので分からないのですが、計画の段階で収支としては、バランスが取れているような計画だったのか、そもそもマイナ

スだったのか、むしろプラスだったのか、その辺りはいかがなのでしょう。47計画、47個の計画においては、合計するとどういう収支になる予定なのでしょう。

資料3-5の一番最後に実施した報告書、事業報告書の収支の一覧は全て収支が書いてありますが、その予算のような、予算バージョンみたいなものはあるのでしょうか。

○地域づくり支援課職員 年度事業計画については、すぐに確認ができませんが、提案時の資料によりますと、この指定管理料につきましては、収支がプラスマイナスゼロになりまして、自主事業につきましては多少黒字になるような計算で出ております。これは、選定時のものになってしまうのですが、令和4年度につきましては、収入が249万5千円、支出が245万4千円。プラスマイナスが必ずしもゼロになるような計上にはなっておりません。

○田部井部会長 計画段階ではプラスの黒字になっていたということによろしいのでしょうか。

○地域づくり支援課職員 そうです。いずれにしても自主事業につきましては、コミュニティセンターの利用のきっかけになるような利用促進という意味合いが強いものになりまして、どうしても利用料金を高くしてしまうとその分、利用される方も減ってしまうということもございますので、実際には、安い利用料金となり、結果的に赤字になってしまうのかなと思います。

○田部井部会長 来年度というか今年度、令和5年度、次の計画としては、収支がどうなっているかというのでしょうか。

○地域づくり支援課職員 来年度についての詳細はまだ確認できておりません。

○田部井部会長 大丈夫です。恐らく4年度はプラスの収支を取っているのですが、5年度以降もプラマイゼロ、もしくはプラスでやっていらっしゃるけれども、実際やってみるといってマイナスになったということなので、ただ、今お聞きした理由としては、あまり高い参加費等が取れないということですので、あとはいかに参加者を募っていくかというところになっていくのかなと思います。

それに関連して、47の計画を立てていたのですけれども、ほかにみたところ68ということで、大幅に増えていらっしゃいます。それは、理由としては、事業者、指定管理者が年度途中にあれもやろう、これもやろうと言って増やしていったものなのか、利用者のほうが、これもやってくれ、あれもやってくれと言って増やしたものなのか、その辺りどうして増えたという理由は分かりますでしょうか。

○地域づくり支援課職員 基本的には、その施設管理者のほうがいろいろな取組というところで自主事業を考えていただいて、それで増えたというところが大きいのかなと思います。

○田部井部会長 その姿勢自体は非常にいいところかなと思います。

最後に、すみません。今後、今、「B」評価ということで、去年までは全部「B」、「C」評価でしたので、今年上がっています。それは事業者もそうですし、市のほうも同じ評価ですので、上がっていていると思いますが、来年以降で、今後の指定管理者としてはどのようにしてこのBを維持、もしくは「A」に持っていくというような、何かプランとかビジョンみたいなことはおっしゃっているのでしょうか。

○地域づくり支援課職員 具体的にまだ、その来年度のところで、これを新たにして改

善してというところは、計画含めてまだもらっていない状態ではあるのですけれども、やはり稼働率が低いところがあるので、そこについては自主事業でお子さんとか、ご家族で参加できるようなものを計画することですとか、そういうところを改善していきたいということは、指定管理者とお話した際におっしゃっていました。

○田部井部会長 分かりました。ありがとうございます。

○平井委員 資料を見させていただいて7ページに、ちょうど1年前にこの委員会でお出された意見を踏まえての改善が、しっかり3項目にわたって書かれています。ほぼ全てにおいて改善したということでもあります。この事業者はしっかり改善していますね。これは非常に素晴らしいことだと思います。マネジメントサイクルであるP D C Aのサイクルをしっかりと回して、次につなげていくということが、はっきり読み取れた内容でした。これを繰り返していけば、どんどんスパイラル方式で向上していくのではないかと私は思いました。

先ほど自主事業の話がありましたが、二つ目というのは、いわゆる子どもたちの居場所づくり、若い世代の取組ということが書かれているのですけれども、国が新しい庁である、子ども子育てについて担当する、こども家庭庁発足させ、子ども真ん中の社会の実現ということを行っています。それに正対する動きとして、この自主事業を展開されていると考えました。

先ほど、秋元委員がおっしゃられた地域の資源の活用ということでは、高等教育機関である大学を活用してこの事業を回していくという、この点も非常に素晴らしい展開だと思っています。

また同じような国の施策としてG I G Aスクール構想があります。小中学校は1人1台端末が既に配布されています。高等学校においても、県立では、1人1台端末を持って授業参加するということが指導されています。そういう状況下にあって、若葉区には東京情報大学という情報系の大学もありますので、その大学が絡んで、自主事業の中で、国や県の施策を後押しするようなものを展開していくというのが、公共の施設でありますので、必要であると思います。

子育て支援の自主事業では、実施団体に施設利用費用はかからないのですよね。ですから、事業者としては、経費はかかるが、教室の使用料金は入らない自主事業も展開しているところが資料を見ると分かります。でもそういった形で国の施策、市の施策に正対してそのような事業を展開しているということは、非常に望ましいと思って見させていただきました。

以上です。

○田部井部会長 ほかにありませんでしょうか。

総括も、市による評価は、「B」評価ということ自体に異論がある方はいらっしゃいませんね。よろしいですかね。

それでは、ご意見そろそろ出尽くしたかと思しますので。

○平井委員

8ページを見ていただきたいのですけれども、寄せられた主な意見、苦情ということで、バレーボールの支柱とネットが古く危険なため、取り替えてほしいという、苦情に対して、更新を検討したいとなっているのですけれども、これはその後どのようになったかご存じ

でしょうか。

○地域づくり支援課職員 予算のほうで備品購入費は、金額が決まっています、今年度バレーボールの支柱を替えたいという話はもらっています。そのため、予定なのですけれども、今年度替えられればなということでは話している段階です。

○平井委員 そうですか。リスクマネジメントから言ったら、非常に危険なことです。鉄製であったとしても、ワイヤーでネットを張っていますから、折れて飛んでくるということがあります。実際そういう事故が起こっています。これは何よりも早く改善したほうが、利用者の危険防止につながると思います。また、利用者から指摘も受けていることですので、ぜひ早く改善するべきではないかと思いました。

○田部井部会長 ほかはよろしいでしょうか。

では、ありがとうございます。委員の皆様からは、様々なご意見をいただきましたけれども、いただいた意見を総合しますと、市の作成した年度評価は妥当である。また、施設管理運営のサービス水準の向上と業務効率化の方策、また改善要する点などの主な意見といたしましては、まず、若葉区の地域の特性を活かした自主事業を展開している。特に、高校とか大学といった教育機関とも連携した居場所づくり、地域における施設の位置づけや、役割の向上に努めた点は評価できるということです。

次に、将来的に、施設の稼働率の数値目標を達成するための利用促進のために、例えば、未利用者、利用していない方のアンケートを取るということで分析を行っていただきたいというご意見です。

それから、共通のアンケートを実施していますので、それを市内全コミュニティセンター等の全体を把握していただいて、その結果を集計して、相対的に評価を行うことが望ましいのではないかとというご意見もありました。

また、光熱費の高騰によって収支が、ちょっとバランスが悪くなっているという点については、やむを得ないという点がありますが、引き続き状況においては、注意をさせていただきたいというふうに思います。

自主事業に関しては、計画を上回る独自の事業を数多く展開いただいている、非常に評価できるというふうに思われます。

昨年度の選定評価委員会での意見が数多く出ておりますが、それらを全て踏まえて適切に対応されているという点は非常に評価できるということでもあります。

また、バレーボールの支柱が古くなって危険であるという意見がありましたけれども、それについては更新を検討していくということですが、リスクマネジメントの観点でも非常に危ないので、早急に対応いただきたいという意見もありましたので、ぜひ対応いただければと思います。

そういったものを踏まえまして、以上の申し上げたようなご意見につきまして、本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○田部井部会長 では、次に、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっております。

これから計算書類などを基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報

公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

ただ、傍聴人は今いらっしゃいませんので、このまま引き続き、続けたいと思います。

それでは、公認会計士である霞副部会長より指定管理者の財務状況などに関して計算書類などを基に、ご意見をいただきたいと思います。

お願いします。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○田部井部会長 ただいま霞副部会長より報告いただきまして、特に皆様からのご意見はございませんでしたけれども、財務状況の意見といたしましては、収支問題はなく、倒産、撤退のリスクについてはないというご意見でしたので、そちらのほうを部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○田部井部会長 それでは、これからの会議は公開となりますが、傍聴人がおりませんので引き続き、このまま続けます。

それでは、これまでの意見を踏まえて、「千葉市若葉区都賀コミュニティセンター」の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見を取りまとめしていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整することでご承認をいただきたいと思いますが、よろしいですか。

(異議なし)

○田部井部会長 では、以上で、議題の2「令和4年度に指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価について」の審議を終了いたします。

最後に、議題の3「その他」について事務局からご説明願います。

○地域づくり支援課職員 それでは、今後の予定についてご説明させていただきます。

本日、委員の皆様からいただきました意見等につきましては、田部井部会長から選定評価委員会にご報告いただき、その後、市長宛に委員会の意見として答申をしていただきます。

この委員会の答申を受けまして、市は委員会のご意見を指定管理者年度評価シートに記載し、市ホームページに掲載し、公表するとともに、指定管理者に通知いたします。

同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても同じく市ホームページにて公表することになります。

公表の時期などが決まりましたら、決まり次第、委員の皆様にはご報告させていただきます。

なお、本日の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○田部井部会長 ただいまの事務局からの説明について、何か質問、ご意見、ございますか。よろしいですか。

(なし)

○田部井部会長 最後に全体を通じて、委員の皆様から何かご発言、ご意見、ご質問ご

ございますか。

よろしいですか。

(なし)

○田部井部会長　それでは、皆様方のご協力によりまして、本日の議事が全て終了いたしました。ありがとうございます。

それでは、事務局にお返しいたします。

○地域づくり支援課職員　慎重なご審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回若葉区役所部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。